

令和6年度 事業計画

《事業実施方針》

日本経済はコロナ禍の3年間を乗り越え、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きが見られる。しかし、令和4年から続くロシア・ウクライナの情勢などによる燃料費の価格高騰に伴う光熱費の不安定な状況は続いており、事業実施に当たっては、引き続き社会経済状況を見極めながら臨機応変に対応していく必要がある。

令和6年度は、こうした基本的な考え方のもと「国際経済交流の推進」については、関係機関と連携し、中国を中心とした経済交流に取り組むとともに、現地の経済状況や国際情勢を注視しつつ、県内中小企業の海外ビジネス活動を継続的に支援していく。

また、「指定管理事業」においては、地元下関市や、下関観光コンベンション協会などの関係機関・団体と引き続き連携し、安全・安心で快適な利用環境の提供に努め、施設の適切な管理運営を実施する。

なお、施設の経年劣化に伴い、建物・設備等の修繕費は毎年増加しているが、施設の現状を把握し計画的に改修を進めるなど、施設本体の維持管理に努める。

《事業計画》

1 国際経済交流の推進

(予算額：14,210千円)

県や下関市、関係機関等と引き続き連携し、「日中経済交流推進室」において、国際経済交流に関する蓄積したノウハウやネットワークを活用しながら、中国への県産品販路開拓支援を行うなど、県内中小企業に対する海外ビジネス活動への支援など継続的に実施していく。

(1) 県産品販路開拓等の海外ビジネス支援

県産品の販路開拓支援を行うにあたり、中国現地の正確な情報を把握するため、引き続き、現地でのサポート体制について調査及び検討を行う。

ア 貿易相談等

令和5年度に導入したインターネットによる相談受付フォームを活用したデータベースを基に、相談内容の経過や交渉についての検証を行い、より効果的なアドバイスが行えるよう努める。

イ 輸出入展示商談会開催の支援

山口県等で構成する「貿易商談会等実行委員会」にメンバーとして参画し、輸出入展示商談会の開催を支援する。

- 山口県・山東省経済貿易商談会

令和6年11月 / 中国山東省青島市・済南市

ウ 中国における県内中小企業の海外ビジネス展開への支援

県内中小企業の海外ビジネス展開を支援するため、山口県等の行政機関が実施する事業と連携し、中国で開催される展示会や商談会への参加を支援するとともに、下関地域商社のメンバーとして、地域における海外ビジネス活動に対する協力等を行う。

- 日韓（青島）輸入商品博覧会

令和6年9月～10月 / 中国山東省青島市

(2) 貿易に携わる人材育成

県内の貿易関係業務に従事する者を対象として、貿易に関する基礎的な知識の習得や貿易業務の能力向上を図るため、レベル別の「貿易実務セミナー」を開催するとともに、より多くの人に受講してもらうため、幅広く広報・宣伝活動を行う。

- 貿易実務セミナーの開催予定

① 基礎編

対象：実務経験1年未満及び未経験者 / 時期：令和6年8月

② 実践編（輸出・輸入）

対象：実務経験原則1年以上の者 / 時期：令和6年8～9月（2回）

③ 貿易実務書類（英語）の解説

対象：実務経験原則1年以上の者 / 時期：令和6年9月

(3) 貿易に関する情報収集・提供

県内中小企業の貿易の促進や海外取引機会の拡大を支援するため、情報の収集や提供に努める。

ア 海外進出企業の情報収集

海外（中国）進出を検討している県内中小企業に対して、効果的な情報を提供するため、「中国（青島）山口県進出企業情報交換会」を開催する。なお開催にあたっては、中国国内の状況を注視し、必要に応じて対応する。

- 中国（青島）進出企業情報交換会

令和7年3月 / 中国山東省青島市

イ 情報誌「メッセ海外通信」の発行及びインターネットの活用による情報発信
「ジェトロ山口」及び当財団の共同による海外経済に関する情報誌を年4回発行するとともに、財団ホームページに掲載し、海外情報を発信する。

2 産業交流の推進 (予算額：657千円)

国際経済交流の拠点機能を高めるため、貿易と地域産業の振興に取り組む。

(1) 海外ネットワーク等を活用した協力・支援

蓄積した海外ネットワークを活用しながら、タワーへのインバウンド誘致に協力するとともに、ジェトロ山口との連携により、貿易の振興を図る。

(2) 地域との連携

これまで同様に地域団体等との協力関係を継続するとともに、産学官の連携の一環として、市内大学と連携し留学生語学ボランティアの活用などを検討するなど、人材の育成を支援する。

(3) 貿易関係機関との連携

貿易関係機関との連携を密にするため、国の関係機関並びに山口県、下関市、商工会議所等と「貿易関係機関団体情報交換会」を設置し、貿易振興に関する情報交換等を行い、貿易振興に努める。

3 テナントの管理運営 (予算額：114,456千円)

国際貿易ビルの適切な管理運営に努めるとともに、入居者に対するサービス向上に努め、国際経済交流の拠点機能の充実を図る。

また、不動産仲介業者に限らず幅広い業種に対し情報収集や営業活動を行い、テナント誘致を積極的に図るとともに、貸会場利用に関する助成金制度の創設やシェアオフィスの充実など、ビジネス支援の強化とメッセの魅力向上に努める。

4 駐車場等の管理運営 (予算額：39,387千円)

国際貿易ビルのテナント用駐車場の適切な管理運営を行い、利用者の利便性向上に努めるとともに、経年劣化のため計画的な大規模改修を実施する。

○大規模修繕

- ・循環駆動装置部品取替工事 / 外側ゲージガイドレール取替工事
- ・管制器盤内電気部品取替工事 / 循環駆動部取替工事

5 国際総合センターの管理運営（指定管理事業）（予算額：689,137千円）

利用者に対する一層のサービス向上や適切な施設の維持管理を行うとともに、従来の延長ではなくコロナ後の新しい生活様式や価値観に沿った施設運営に努める。

また、タワーの「マンスリーフラワー」などのシーズンイベントの実施に加え、令和8年にはオープン30周年を迎えることから、記念事業の実施についても検討を進める。

（1）コンベンション施設

ア 誘致活動

下関観光コンベンション協会等の関係団体と緊密に連携するとともに、アドバイザー契約によりコンベンション企画会社から得た情報を活用し、新たな分野のコンベンション誘致に繋げていく。

また、リピーターと密にコミュニケーションをとることで継続的な利用促進を図るとともに、新規利用者の定着化（リピーター化）を目的としたアンケート調査を実施し、施設の利用促進に努める。

イ 賑わいの創出

海峡メッセ下関で開催されるMICEにおいて、県民が参加できるイベントや「公開講座」等の開催を促進することにより地域活性化につなげるとともに、設営・ケータリング・宿泊等に地元企業や宿泊施設の利用を推奨し、地域経済への波及に繋げる。

ウ 利便性向上と情報発信

関係団体と施設利用者との懸け橋となり、開催地に不慣れな利用者の利便性の向上に努め、開催支援を行う。

また「貸館専用インターネット回線」の有益性を積極的に広報し、新規顧客の開拓及びリピーターの継続的な利用確保に努める。

エ 「全国展示場連絡協議会」などコンベンション関係団体との連携強化

「全国展示場連絡協議会」や「国際会議場施設協議会」の活動を通じて、国や会員相互間の連携強化に努める。

特に「国際会議場施設協議会」では、令和6年度は幹事役を引き受けることから、当協議会の運営に積極的に協力していく。

(2) タワー

ア 広報活動の充実

SNSを積極的に活用するなど、幅広い世代・国内外に対して広報活動を行うことにより、入場者増に努める。

なお、令和6年4月より「ネーミングライツ」が導入されることから、県とも連携して広報活動の充実を図る。

イ ネットワーク及び地域連携の強化

県や下関市はもとより「モアしものせき委員会」や「関門海峡観光推進協議会」などの関係団体と連携し、更なるネットワークの強化を図るとともに、リニューアルされる隣接の「海峡ゆめ広場」と連携した催事を検討し、効果的な集客に努める。

ウ タワーキャラクター「ゆめたん」を活用したPR

タワーイメージキャラクター「ゆめたん」を様々なイベントで活用し、タワーファンの獲得と増収を図る。

エ タワーライトアップによる各種啓発活動への協力

関門地区のランドマークとしての役割を活かし、引き続きタワーライトアップによる地域貢献や様々な啓発活動に対する支援を行っていく。

オ タワーへの誘客に向けた取り組み

当館においても、社会見学やバスツアーによる団体客は回復しつつあり、今後インバウンドの増加を見据えて、国内外の旅行エージェントへ働きかけていく。

また、令和5年度には大規模コンベンションやタワーイベントの開催に合わせ、29階で臨時カフェをオープンするなど、今後も様々な取組を通じてタワー誘客と施設利用者の満足度向上を図る。

(3) お客様サービスの充実

ア 「利用者満足度調査」の実施

コロナ後の新しい生活様式や価値観に沿った施設運営に努めるため、施設利用者のニーズや利用満足度を改めて調査分析し、その結果を施設運営に反映させる。

イ 職員の資質向上

質の高いお客様サービスの提供と職員の資質向上を目的に、財団内部での「OJT」「OFF-JT」の実施や外部の研修会に積極的に参加する。

また、緊急時の危機管理体制が円滑に機能するように、「山口県国際総合センター危機管理マニュアル」や新たに整備した「海峡ゆめタワー不審者対応マニュアル」に沿って、職員の防災・防犯意識を高める。

ウ 第1駐車場（屋内駐車場）の有効活用

第1駐車場(屋内駐車場)についても、利用者サービスの向上などを目的として、当該駐車場の24時間化を試行的に実施する。

(4) 施設の維持管理

安全・安心な施設環境を提供するため、万全な危機管理体制を構築し、効率的かつ適切に維持管理をする。

また、経年劣化により修繕費が増加傾向にあり、引き続き計画的な改修に努める。

○大規模修繕

- ・中央監視装置リモートユニット更新工事
- ・6号EV（屋内駐車場～交流広場）改修工事
- ・熱源等改修工事 他

※ 工費10,000千円以上の工事を抜粋して記載

(5) 指定管理事業計画の進行管理

第4期指定管理事業計画の適切な進捗管理を行うことにより、計画の着実な実行に努める。

令和6年度 主要コンベンション開催予定一覧

開催日	催事名称	規模
5/16～18	第65回日本神経病理学会総会学術研究会	全国
5/25～26	日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	全国
6/1～2	ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区 第70回年次大会事務局	中四国
7/17～19	第79回日本消化器外科学会総会	全国
10/26～27	第31回日本精神科看護専門学術集会 in 山口	全国
2/20～22	第55回日本心臓血管外科学会学術総会	全国